

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（1）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：重粒子線がん治療センターの事業推進]

〔目標値：平成27年度の新鳥栖駅利用者数 9,590人/日〕

○誘致した地元自治体として、事業推進、資金収集活動、PR活動を積極的に推進する。

○リープロ2「九州をリードするまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「地域特性を活かした魅力ある拠点の形成を図る」ために、重粒子線がん治療センターの事業促進を行なうもの。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	資金収集活動については、中京県人会に参加しトップセールスを行った。 がん先進医療助成事業について、3人の助成を行った。(累計14名) 佐賀県、財団等と連携し、栄の国まつりに参加するなど、PR活動を推進した。
	自己評価	治療を開始し2年が経過し、患者数など当初計画よりも順調に推移している。 資金収集活動については、市補助金の低減につながるよう引き続きの活動が必要である。
	下半期への対応	資金収集活動の推進を引き続き行なう。 がん先進医療助成事業については、適切な対応を行なう。
下半期	取組実績	資金収集活動については、トップセールスによる在京企業訪問を行った。 がん先進医療助成事業について、12月末現在で計7名の助成を行った。(累計18名) 医療フォーラム(2/14)を後援し、治療実績等のPRを行った。
	自己評価	患者数など当初計画よりも順調に推移している。(12月末での累計1136名) 資金収集活動については、引き続きの活動を実施している。 PR活動については、県、財団と連携しながら推進していく必要がある。
	目標値の達成状況	治療患者数については、予定以上の状況である。 新鳥栖駅利用者数も順調に進捗している。
	次年度への対応	資金収集活動については、引き続きトップセールスによる活動を実施していく。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

資金収集活動については引き続き実施するとともに、がん先進医療助成事業の適切な対応を行うこと

下半期

資金収集活動については引き続き実施するとともに、がん先進医療助成事業の適切な対応を行うこと

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（２）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：メディカルツーリズムの検討]

〔目標値：平成２７年度の新鳥栖駅利用者数 9,590人/日〕

- 重粒子線がん治療施設の広域的活用に伴う外来者の観光・保養等の可能性を調査研究する。
- リープロ２「九州をリードするまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「地域特性を活かした魅力ある拠点の形成を図る」ために、重粒子線がん治療センターを活用したメディカルツーリズムの検討を行なうもの。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	福岡市、久留米市、小郡市、鳥栖市、基山町で組織するグランドクロス広域連携協議会における、医療資源活用部会において、各市の医療資源の現地調査などを行っているところである。
	自己評価	各市の医療資源の現地調査を行っており、一定の評価はできるものと考えている。
	下半期への対応	各自治体における医療資源の状況調査やそれぞれの自治体の役割の明確化などを協議していくことが重要である。
下半期	取組実績	部会を開催し、今後の方向性等について協議を行った。
	自己評価	今後の方向性等について、十分な議論が必要である。
	目標値の達成状況	医療資源の活用という大きな目標をいかに達成していくか、それぞれの自治体の温度差等を埋めながらの作業であり、一定の評価はできるものとする。
	次年度への対応	今後の方向性等について、慎重にかつ適切に対応していく必要がある。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

グランドクロス広域連携協議会における連携において、本市の役割も含め、引き続き協議を重ねること

下半期

グランドクロス広域連携協議会における連携において、サガハイマットの特性と本市の役割も含め、引き続き協議を重ねること

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（3）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：鳥栖・三養基地域ビジョン]

〔目標値：平成27年度の連携事業数11 連携事業の具体化（5事業以上）〕

○リープロ4「広域連携のまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「地域間交流・連携の取組」の推進のために、平成24年度に策定した鳥栖・三養基地域ビジョンに位置付けられた11の連携事業を着実に推進する。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	11 連携事業のうち、実施中の避難者の相互受入協定の締結、スポーツを核とした取組の共同観戦、婚活支援事業の相互広報活動、職員の合同研修、防犯パトロール、図書館の相互利用について着実な運用を図った。
	自己評価	実施中の連携事業について、着実な推進を図っている。
	下半期への対応	まずは、実施中の連携事業の着実な推進を図る。
下半期	取組実績	現在実施中の連携事業については、着実に推進を図った。 また、各事業の進捗等について進行管理を行うこととしている。
	自己評価	新たな連携事業についての協議を実施できていない。 しかし、実施中の事業については、推進を図ることができた。
	目標値の達成状況	目標値については、既に達成できているが、新たな連携事業については進捗していない。
	次年度への対応	実施中の連携事業の継続を行っていくことを、まずは推進していく。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

実施中の事業について着実な推進を図ること

下半期

実施中の事業の検証も含め検討を行うこと

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（４）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：将来のあり方検討委員会]

〔目標値：平成27年度の連携事業数11 連携事業の具体化（5事業以上）〕

○リープロ4「広域連携のまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「地域間交流・連携の取組」の推進のために、平成24年度策定の鳥栖・三養基地域ビジョンに基づき、地域の将来展望等について協議する委員会を設置し、合併を含めた様々な連携について一定の結論を得ることを目的とする。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	将来のあり方検討委員会については、今後の委員会の在り方について内部協議を行っているところである。
	自己評価	内部での協議を行っている段階であり、これといった結果は残せていない。
	下半期への対応	委員会の在り方についての結論を見出したい。
下半期	取組実績	委員会の開催はできていない。 今後の在り方について内部協議を継続しているところである。
	自己評価	委員会の開催ができていない状況であり、結果はでていない。
	目標値の達成状況	連携事業の実施について注力している状況であり、委員会の開催はできていない。
	次年度への対応	委員会の在り方についての結論を出していきたい。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期
今後の委員会の在り方について検討を行うこと

下半期
整理も含め検討を行うこと

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（５）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：筑後川流域クロスロード協議会]

〔目標値：平成２７年度の広域連携事業数 １０事業〕

- クロスロード圏域の市町が連携し、市民目線、生活レベルに呼応した連携、相互補完を推進する。
- リープロ４「広域連携のまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「広域連携の取組」の推進のために、クロスロード協議会の事業推進を図る。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	クロスロードビジョンに基づき、各部会の開催、各種勉強会の実施等について担当者会議、担当課長会議を経て、総会での承認を受けた。また、クロスロード圏域でのサガン鳥栖の応援宣言に基づき、構成市町での共同応援を７月１５日に実施した。
	自己評価	今後は、ビジョンに基づき連携事業の推進が課題となるが、十分な検討が必要である。
	下半期への対応	地方創生勉強会などが予定されており、各自治体でのフィードバックに繋がるように取り組む必要がある。
下半期	取組実績	クロスロードビジョンに基づき、各部会を開催している状況であり、その中で、市民協働の観点での各自治体の市民活動団体の紹介サイトを市HP上に公開した。
	自己評価	着実に各事業が進捗している。
	目標値の達成状況	筑後川流域クロスロード協議会については、各自治体の連携のもと、事業実施が図られているものと考えている。
	次年度への対応	構成市町と協議を継続しながら、今後のこの地域の発展につながるような事業の模索を行っていく必要がある。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

県境を越えた経済圏としての筑後川流域クロスロード協議会における課題研究等について検討をおこなうこと

下半期

国家戦略特区の今後の進捗も含め連携強化に向けた取り組みの検討を行うこと

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（6）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：グランドクロス広域連携協議会]

〔目標値：平成27年度の広域連携事業数 10事業〕

- 新幹線開業等の状況変化を加味し、クロスロード圏域と福岡市の更なる連携策の検討を行う。
- リープロ4「広域連携のまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「広域連携の取組」の推進のために、グランドクロス広域連携協議会の更なる連携策の検討を行う。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	グランドクロス広域連携協議会については、医療資源活用部会、企業誘致部会、観光部会において、定期的に部会の開催を行っている。
	自己評価	それぞれの部会において連携事業の取組が進められている。
	下半期への対応	それぞれの部会において活動が行われており、そのサポートを行うことで、魅力ある連携事業となるようにしていきたい。
下半期	取組実績	今年度については、それぞれの部会において、定期的な部会開催を行ったところである。
	自己評価	着実に部会開催がなされ一定の評価はできるものとする。
	目標値の達成状況	連携事業の取組状況、目標値の達成状況など、着実に成果がでていく。
	次年度への対応	構成自治体のひとつとして、各自治体と協力、連携しながら事業推進を図っていく。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期
それぞれの部会での活動において魅力ある連携事業につながるようサポートすること

下半期
鳥栖市の役割と具体的な連携について部会等における検討を進めること

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（7）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：部課長の仕事宣言]

〔目標値：仕事宣言の公表 年3回〕

○部課長が当該年度、あるいは今後実施する事業の取組み方針を宣言することで、成果重視の行政運営につなげる。
○リープロ11「市民に信頼される市役所プロジェクト」に位置づけられた「成果重視の行政運営の実現」を図るため、総合計画リーディングプロジェクトに位置づけられた事業の的確な推進を行なうことを目的とする。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	今年度については、7月に組織機構の見直しが行われたことにより、8月に市長ヒアリングを実施した。そこで、8月に仕事宣言の実施、10月に中間管理を実施予定で進めているところである。年3回の公表については的確に実施することとしている。
	自己評価	仕事宣言と第6次総合計画の連携に加え、総合計画を中心に据えた事務事業の展開の方向性が示せたものと考えている。
	下半期への対応	8月の仕事宣言HP公表、第2四半期の進行管理に合わせHP公表を行い、事業の円滑な推進を図る。また、第4四半期の進行管理後にHP公表を行うこととしている。
下半期	取組実績	第2四半期の進行管理を実施し、市HPで公表を行った。 総括の進行管理においても、とりまとめ後、公表を行っていく。
	自己評価	組織機構の見直しにより、例年スケジュールとは違いが出たが、公表回数については、着実に実施できた。
	目標値の達成状況	年3回の市公式HPでの公表はできている。
	次年度への対応	来年度から第6次総合計画後期基本計画を推進していくこととしており、部課長の仕事宣言について、見直しを検討したい。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

第6次総合計画の後期基本計画の見直しに合わせ、部課長の仕事宣言の役割も含め、検討を行うこと

下半期

後期基本計画策定後の事務事業の進捗管理としての仕事宣言の在り方等について整理を含め、検討すること

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（8）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：行政改革の推進]

〔目標値：行政改革ランキング173位以内〕

○市政運営上の需要課題である懸案事項の集中的な検討、方向付けを行う。

○リープロ11「市民に信頼される市役所プロジェクト」に位置づけられた「行政改革」を進めるに当たっては、市民本意の行政運営の実現を図るため、その時々々の社会経済情勢に応じた取組みを進める。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	行革案件について、その課題解決方策の検討を行っており、衛生処理場の在り方、指定管理者制度への対応を行った。
	自己評価	一定の結論を得た課題もあり、一定の評価はできるものと考えている。
	下半期への対応	市民本位で効率的な行政運営を図るため、常に行政のあり方についての検討を行い、その中で新たな行政改革の検討を行うことが基本であり、今後も様々な課題について、一定の方向性を導き出したい。
下半期	取組実績	検討中の案件について一定の方針を出していく必要がある。
	自己評価	今年度については、2件の案件について一定の方向性を導きだし、検討中の案件については、内容を詰める作業が必要である。
	目標値の達成状況	目標値の結果としては、平成25年度の79位ということであるが、行政課題解決を着実にやっていくことが、次世代へよりよい鳥栖市を引き継いでいくことになるものと考えている。
	次年度への対応	日々変化する市民ニーズへ対応していくために行政課題も日々変化していくものと考えている。この行政課題を着実に解決していくことを推進していく。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

効率的な行政運営の視点において、今後も引き続き課題整理に向けた取組みを進めること

下半期

後期基本計画の策定内容を基本に、効率的な行政運営の視点において、今後も引き続き課題整理に向けた取組みを進めること

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（9）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 〔事業名：公共施設等総合管理計画の策定〕

〔目標値：行政改革ランキング173位以内〕

○平成28年度までに策定を求められている公共施設等総合管理計画の策定を行う。

○リープロ11「市民に信頼される市役所プロジェクト」に位置づけられた「行政改革」を進めるに当たっては、市民本意の行政運営の実現を図るため、その時々々の社会経済情勢に応じた取組みを進める。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	基本的な公共施設等の情報の整理、スケジュール、推進体制等について整理した。
	自己評価	当初予定よりも遅れている部分がある。
	下半期への対応	改めて、スケジュールの確認、推進体制の確立、計画の策定準備を推進する。
下半期	取組実績	庁内策定体制を設置し、鋭意作業を進めているところである。
	自己評価	当初予定では、本年度中に白書を公開することとしていたが、スケジュール調整の結果、来年度当初に公開することとした。来年度中の計画策定は予定通り進める。
	目標値の達成状況	当初スケジュールよりも若干遅れがでている。
	次年度への対応	平成28年度中に策定が求められている、公共施設等総合管理計画について、遅れが出ないように、関係各課と調整を図りながら進めたい。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期
推進体制確立に伴い、スケジュール感を持った取組みを進めること

下半期
白書の策定から公共施設等総合管理計画策定とタイトなスケジュールとなっているが、今後の施設の在り方等を含め十分検討を行うこと